

当科で血栓溶解療法を受けた患者さんの医学情報の研究利用に関するお願い

2018/1/4

青森県立中央病院 神経内科 上野達哉

青森県立中央病院神経内科では、このたび「血栓溶解療法（recombinant tissue-type plasminogen activator:rt-PA）の有効性の検証」に関する研究を実施します。

研究内容は、当院へ入院された脳梗塞の患者さんで血栓溶解療法を受けた患者さんの医学情報を後方視的に解析し、統計学的検討を行うことです。この検討は、脳梗塞急性期治療の場面で当院での治療成績を提示する際の参考や、その治療効果の予測の指標をみつけることを目的にしており、これから発症する脳梗塞患者さんの治療成績向上に役立つと想定されます。何卒、ご協力をお願い申し上げます。

対象となるのは、2009年12月～2017年3月までに、当科で脳梗塞急性期治療として血栓溶解療法を受けた患者さんです。検討項目は、性、発症年齢、脳梗塞病型、脳梗塞の症状、画像所見、入院経過中のバイタルサイン（血圧や体温など）、治療に用いた薬剤、通常診療で施行した検査所見、入院日数、最終転帰です。個人が特定されることはなく、個人情報保護されます。

研究期間は、2018年1月～2019年10月までには終了したいと考えています。今回の検討で得られた結果は、脳梗塞急性期治療に従事する医師に提供するため、関連学会、国際医学雑誌に発表予定です。

本研究の調査対象となる患者さん、および保護者の方で、研究に同意されない方はお申し出下さい。この件につきまして、ご意見ご質問などございましたら、下記研究責任者までご遠慮なくお尋ねください。

このお知らせは、本研究の実施期間(2018年1月～2019年10月または研究終了時まで)において、青森県立中央病院のホームページ上にて掲示します。

なお、本研究は、青森県立中央病院倫理審査委員会で審議・承認されています。

研究責任者

青森県立中央病院 神経内科 上野達哉

電話番号 017-726-8111